

令和元年度 事務事業総点検シート(1)
[平成30年度事務事業]

一般会計		事務事業分類		A 一般事務事業	
事務事業名		伝統産業振興事業		シート番号	
担当部署名		産業振興 局 商工労働 部 ものづくり支援 課		評価責任者(課長名)	
				村井	

Ⅰ. 基本情報

基本情報	1	堺市マスタープランの政策体系に基づく事業の位置付け	政策	4	産業を振興し、地域の持続的発展を支えます	後期実施計画の位置付け
			施策	1	中小企業の経営基盤の強化	有
	2	事業開始年度	昭和 58 年度		終了(予定)年度	— 年度
	3	根拠法令等(法令、条例、規則、要綱等)	TOUR OF JAPAN組織委員会堺ステージ実行委員会規程 等			
	4	関連計画	産業振興アクションプラン			
5	事業実施の経緯	伝統産業は、本市の基盤産業である「ものづくり」の象徴的存在であり、次世代に継承すべき重要な地域資源であるが、ライフスタイルの変化や安価な外国製品の進出による需要の減退、後継者の確保難などにより、産業的基盤の喪失が危ぶまれる大変厳しい状況となったことから、各支援事業の実施に至った。				

Ⅱ. 事業概要

事業概要	6	事業の実施主体(誰が実施しているのか。)	<input checked="" type="checkbox"/> 本庁 <input type="checkbox"/> 各区 <input type="checkbox"/> 出先機関 () <input type="checkbox"/> 市外郭団体 <input type="checkbox"/> 地域団体・市民 <input type="checkbox"/> 民間企業・NPO <input type="checkbox"/> その他 ()			
	7	事業の対象(誰を、何を対象としているのか)	伝統産業事業者、産地組合、市民			
	8	事業の目的(どのような状況にしたいのか)	伝統産品の需要開拓や後継者育成等の振興施策を実施し、伝統産業の衰退を抑止するとともに、産業として次世代へ継承することを目的とする。			
	9	事業内容(スケジュール、実施方法・手段、事業ボリュームなど)	①販路開拓や技能継承に取り組む産地組合等への補助②後継者を育成する伝統産業事業者への補助③市民理解促進の為に卓越した技術をもつマイスター(職人)の認定と派遣事業④見学者の受け入れのための設備を導入する事業所への補助⑤ツアー・オブ・ジャパン堺ステージの開催⑥伝統産業PR冊子の作成 <input checked="" type="checkbox"/> 直接実施 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input checked="" type="checkbox"/> 委託 <input checked="" type="checkbox"/> 補助金 <input checked="" type="checkbox"/> 負担金 <input type="checkbox"/> その他 ()			
10	直接実施以外の主な支出先	市内企業等				

Ⅲ. 投入量

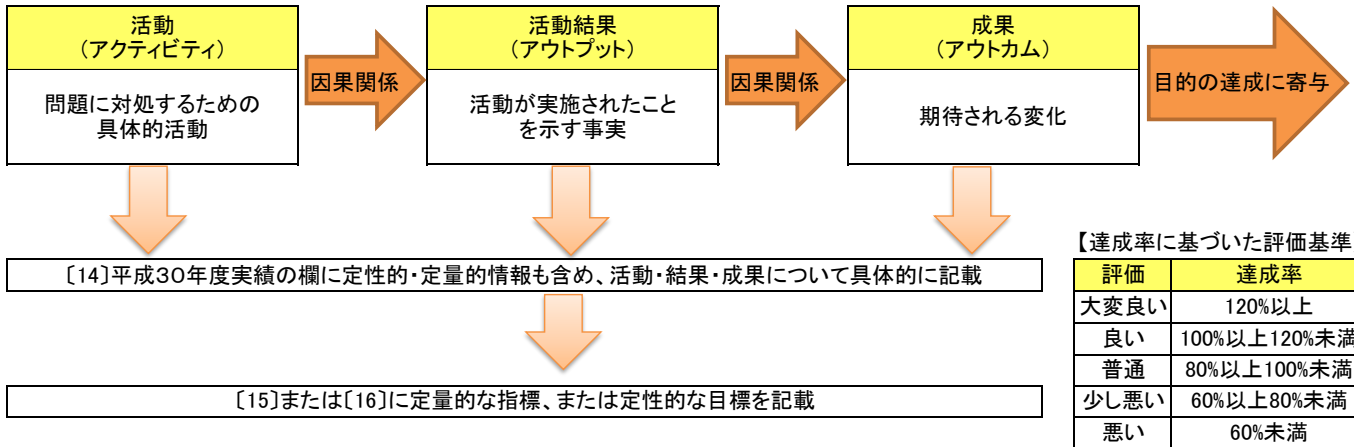
項目		単位	H28年度決算	H29年度決算	H30年度決算	R1年度予算	
事業コスト	事業費 (a)	千円	73,897	74,693	70,007	66,880	
	主な事業費内訳	ツアー・オブ・ジャパン開催負担金	千円	30,441	27,028	33,510	42,500
		後継者育成事業補助	千円	13,000	14,260	14,072	15,600
		ものづくり「魅せる化」支援事業補助金	千円	9,635	10,000	6,000	0
			千円				
	財源内訳	国・府支出金	千円				
		受益者負担金(使用料、手数料等)	千円				
		市債	千円				
		その他(地方創生交付金、ツアー・オブ・ジャパン堺ステージ応援指定寄附金)	千円	12,121	5,140	3,100	20,100
	一般財源	千円	61,776	69,553	66,907	46,780	
	12	人件費 (b)	千円	16,400	16,400	16,400	16,200
13	総コスト(c)=(a)+(b)	千円	90,297	91,093	86,407	83,080	

令和元年度 事務事業総点検シート(2)

事務事業名	伝統産業振興事業	シート番号	15-20
-------	----------	-------	-------

Ⅳ. 評価(測定・分析)》

ロジックモデルの考え方



事業の活動内容や成果

		平成30年度実績						
活動実績と成果	14	<p>・本市地場産業の振興のため、地場産業を営む団体の事業活動を支援する補助と、伝統産業の後継者育成に取り組む事業者を支援する補助を行った。</p> <p>・ものづくりマイスター制度を運営し、卓越した技能の継承や当該技能を広く伝承する者として、マイスターを認定し、ものづくりに関する市民等の理解を深めるため、マイスター派遣事業を実施した。</p> <p>・ものづくりの魅力を発信(魅せる化)し、市内ものづくり企業のイメージの向上や集客による地域経済の活性化につなげるため、製造工程を公開し、見学者を受け入れるための事業所の整備にかかる経費の補助を行った。</p> <p>・日本を代表するロードレースであるツアー・オブ・ジャパンを開催し、市民をはじめとする多くの人に、身近で迫力のある世界レベルのレースを感じていただくとともに、自転車のまちとして堺の魅力発信につなげた。</p>						
	15	指標名	単位	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	
		後継者育成事業者数	者	目標値	15	15	15	15
				実績値	18	16	17	
				達成率	120%	107%	113%	
	評価			大変良い	良い	良い		
	算出方法・設定根拠など		堺市伝統産業後継者育成事業補助金の実績					
	16	指標名	単位	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	
		マイスター制度利用団体のうち、初めて利用する団体の割合	%	目標値	50	60	60	60
				実績値	79	88	88	
達成率				158%	147%	147%		
評価	大変良い			大変良い	大変良い			
算出方法・設定根拠など		ものづくりマイスター制度を初めて利用する団体数						

業績の分析

17	<p>目標を達成できた、または達成できなかった要因についての分析 (その他、関連情報に基づいた分析)</p>
	<p>①後継者育成事業者数については、堺羽物職人養成道場(平成27年10月～平成28年9月)の修了生8名が、堺注染職人養成道場(平成30年9月～平成31年3月)の修了生のうち8名が事業所に就職しており、後継者育成に取り組む事業者数の目標達成に至った。</p> <p>②マイスター制度利用団体のうち、初めて利用する団体の割合については、同制度の周知等伝統産業の情報発信に努めた結果、目標達成に至った。</p>

【分析のチェックポイント】

- 事業の達成度はどうでしたか。
- 5W2Hを踏まえて、実施過程に問題はありましたか。
- 資源投入は適切でしたか。
- 事前想定できない外的要因の影響はありませんでしたか。
- 事業の有効性は高いですか。低いですか。